



希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

心豊かで たくましい
大門小児童の育成
< 夢と目標をもち、
生き生きと活動する子ども >



大門宿本陣表門

大門宿

宮本 江津子

富士山では、初冠雪がありました。ついこの間まで、秋はまだかしら？と思っていたのですが、急に、寒くなってしまい、驚いています。北海道や東北の高い山々では、雪も降っているようです。

いよいよ11月です。来週の土曜日は、「第8回チャレンジ強歩」が開催されます。大門宿から岩槻城までの、3里の道のりを6年生が歩きます。

江戸時代、江戸城に住む将軍が、徳川家康の命日4月17日に、日光東照宮にお参りに行くことを『社参』と言っていました。この日光社参のため、将軍がお成りになる専用道路が日光街道とは別に作られ、それを「御成道」と言っていたそうです。江戸城（日本橋）から中山道へ出て、本郷追分から日光街道幸手宿に合流するまでの12里（48km）の道が日光御成道。そこには、岩淵→川口→鳩ヶ谷→大門→岩槻の5つの宿場がありました。大門宿は、4番目の宿場。旅の道中、将軍様は、お城に宿泊し、大名は本陣や脇本陣、その他の家来は、旅籠や民家に分かれて宿泊しました。大名が宿泊した本陣や脇本陣の門が、大門小の近くで見ることができます。

かやぶき屋根を残す本陣、脇本陣、大門神社、大興寺（開校当時の大門小学校は、ここにありました。）美園公民館脇にある「青面金剛」を祀る「庚申塔」など、大門には、現在も、歴史的建造物が残されています。



脇本陣表門

他にも、地域の方からは、「うちは、蔦屋だったんだ。」とか「うちは、うなぎ屋だったんだ。」「あそこは、〇〇だったんだよ。」「〇〇さんちは、旅籠屋だったんだよ。」などなど、御成道の大門宿の様子が伺えるお話も、聞きました。

昔の旅人は、1日8里（32km）歩くのが普通でした。「チャレンジ強歩」では、そのうちの3里（約13.5キロ）の道のりを歩くことにチャレンジし、「強い体と心」「やりぬく力」を育むことを目標にしています。

また、今年度は事前学習として、青木義脩さんをお迎えし、御成道について学んでから歩きます。御成道を歩くことを通して、地域を大切に思う心も醸成したいです。

当日は、たくさんの保護者の方、地域の方、のびのび教室のスタッフ、育成会、交通安全協会、大学生、中学生ボランティアによる、各グループへの同行や各ポイントでの見守りのご協力をいただき、実施されます。たくさんのご協力に感謝申し上げます。当日も、どうぞよろしくお願いいたします。